

ヒロシマというとき

栗原 貞子

〈ヒロシマ〉というとき

〈ああ ヒロシマ〉と

やさしく答えてくれるだろうか

〈ヒロシマ〉といえば 〈パール・ハーバー〉

〈ヒロシマ〉といえば 〈南京虐殺〉

〈ヒロシマ〉といえば 女や子供を

壕の中にとじこめ

ガソリンをかけて焼いたマニラの火刑

〈ヒロシマ〉といえば

血の炎のこだまが 返ってくるのだ

〈ヒロシマ〉といえば

〈ああ ヒロシマ〉とやさしくは

返ってこない

アジアの国々の死者たちや無告の民が

いつせいに犯されたものの怒りを

噴き出すのだ

〈ヒロシマ〉といえば

〈ああ ヒロシマ〉と

やさしく返ってくるためには

捨てた筈の武器を ほんとうに

捨てねばならない

異国の基地を撤去せねばならない

その日までヒロシマは

残酷と不信のいがい都市だ

私たちは潜在する放射能に

灼かれるパリアだ

〈ヒロシマ〉といえば

〈ああ ヒロシマ〉と

やさしい答えが返ってくるためには

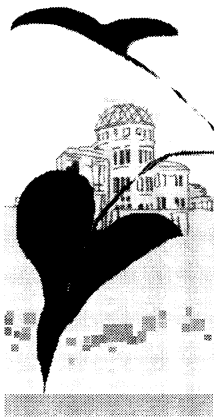
わたしたちは

わたしたちの汚れた手を

きよめねばならない

(くりはら・さだこ、詩人)

(一九七二年五月)





市民の意見

90号

30の会・東京ニュース

●発行：市民の意見30の会・東京 ●住所：東京都渋谷区千駄ヶ谷4の29の12の305
 ●TEL/FAX：03-3423-0185 ●郵便振替：00120-9-359506
 ■ホームページ：http://www1.jca.apc.org/iken30 ■Eメール：iken30@mwb.biglobe.ne.jp
 *『ニュース』は隔月刊/購読料・送料とも年2500円、一部400円、65歳以上および身障者の方は年2000円

r100
 古紙配合率100%再生紙を使用しています



きりえ 金子静枝「南京の碑」1995年
 33ページの「表紙のきり絵」参照。

お知り合いの方に、本誌の見本をお送りください。ご連絡くださればすぐ見本誌をお送りします。個人個人の反戦の意思を本『ニュース』でつなぎ、強めてゆきましょう。事務局に力を貸してください。ホランティア大歓迎。

本誌に掲載のカットは表紙を除きすべて鷺谷眞理子

目次 (今号も増ページ!)

【特集・集会「イラク戦争・憲法九条と私たち」】

- ▽ベトナム反戦運動と私……………鶴見俊輔
- ▽不戦の六十年を延ばしていこう……………澤地久枝
- ▽国家は滅びようとも……………なだいなだ
- ▽爆撃の黒煙の外と内を結ぶ……………小田実
- ▽ベトナム終戦から三〇年……………吉川勇一

【二つの意見広告運動の成功】

- ▽まだまだ出せる《民衆の平和力》……………井上澄夫
- ▽「イラク・ブーメラン意見広告」報告……………高橋建吉

24 22 3 17 16 8 4

- ▼【声明】小泉首相の靖国参拝批判……………山本唯人
- ▼東京大空襲六十年・今後の課題……………
- ▼【詩・情報・その他】
- ▼【詩】ヒロシマというとき……………栗原貞子
- ▼二人の詩人への挽歌……………長谷川修児
- ▼書籍紹介『立川反戦ビラ入れ事件』ほか……………金子徳好
- ▼表紙きりえについて……………
- ▼インフォメーション……………
- ▼読者のおたより……………
- ▼会計報告／編集後記……………

36 34 32 32 33 31 2 28 21